

**新入荷分リスト** email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)

(初寸評及び寸評書き換え商品及び久し振りの入荷分も含んでいます)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。

プライス・コード{ a ¥ 1 8 9 0 / A ¥ 2 1 5 0 / B ¥ 2 4 9 0 / C ¥ 2 6 5 0 / D ¥ 2 8 5 0 }

(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

Book , Irish Dance, Reissue , Guitar , USA , Canada , British Folk(P9) ,

England(P10), Scotland(P14), Ireland(P16), USA(Trad), Europe,

Balkan 他

**[ B O O K ]**

( C D {又はカセット} 付楽譜/教則本/本 )

- \*110 IRELAND'S BEST CAROLAN TUNES ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST FIDDLE TUNES VOL.1 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST POLKAS & SLIDES ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST SLOW AIRS ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST TIN WHISTLE TUNES VOL.1 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST TIN WHISTLE TUNES VOL.2 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST TIN WHISTLE TUNES FOR CHILDREN ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST SESSION TUNES VOL.1 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST SESSION TUNES VOL.2 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRELAND'S BEST SESSION TUNES VOL.3 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRISH BUTTON ACCORDION TUNES VOL.1 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRISH CONCERTINA TUNES VOL.1 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRISH FIDDLES TUNES VOL.2 ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRISH MANDOLIN ¥3880  
(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)
- \*110 IRISH TIN WHISTLE BY CLARE McKENNA ¥3880

(楽譜に即した演奏の2枚組CD付110曲収録楽譜。Waltons)

\*TOMMY PEOPLES 50 IRISH FIDDLE TUNES ¥3280

(楽譜に即した演奏のCD付50曲収録楽譜。Waltons)

### [ IRISH DANCE, RIVERDANCE 関係 ]

(DVD) PAL region 2

PAL専用DVDプレーヤー又はパソコンで再生可能

\*MICHAEL FLATLEY: Celtic Tiger A

(back in stock。M. Flatleyのもう一つの大スイング・ショウ。アイリッシュ・ダンスをベースにしながらもアイリッシュ・ダンスの型を大きく破った芸術的ダンス・ショウ。Riverdanceを超えられないダンス・ショウが多い中で、これは別格。衣装や映像的にも華美でファンタスティック。見せ場だらけ。ダンスに興味がなくとも見応えあり。二部構成。2006作。Universal)

(DVD) PAL all regions

PAL専用DVDプレーヤー又はパソコンで再生可能

\*IRISH MUSIC & DANCE SPECTACULAR ¥2390

(お買い得価格の3本組DVDセット。"The Best Of Riverdance", "Greatest Irish Artists" {1997年ダブリンのPoint TheatreでのGael Forceのライヴ。ゲスト: Chieftains, Mary Black, Clannad, Altan, De Dannan, Sinéad O'Connor, etc.}, "Dubliners Live" {2002年の40周年記念ライヴ}の3本。Celtic Music)

### [ リイシュー/ Historic Recording ]

(CD/ U.S.A.)

\*KAREN DALTON: Green Rocky Road C

("Cotton Eyed Joe"に次ぐJoe Loopの"Joe Loop Tapes"からの第二弾。パントーンを爪弾きうたうKarenの声はまぎれもなく"In My Own Time"のKarenの声。女性ながら枯れた味わいの個性的なヴォーカルはウットストック産の"In My Own Time"をホフツさせるもの。1962年と1963年で"In My Own Time"の10年近くも前なのにこの個性は既に際立っている。"In My Own Time"をさらにルーツ色を深めたというか選曲はアメリカ民謡やアメリカ民謡やブルースなのだが、その枯れた味わいは深い。Fairportファンには馴染み深い"Nortun Town"をここでは"Nottingham Town"の曲名でうたっている。Jean Ritchieのヴァージョンで後にDylanがこのパッドを基に「戦争の親玉」を作っている。アメリカ民謡とブルースとが混ざったようなKaren独特なオールタイムな世界だ。62/63/2008作。Megaphone)

\*GENE CLARK: Silverado '75 Live & Unreleases A

(Silveradoというバンド {本作ではアコースティック&エレキギター、ヴォーカルのRoger Whiteとベース、アコースティックギター、ヴォーカルのDuke Barwellのみ} がパットのG. Clarkの75年のライヴ。小編成だがG. Clarkのコシの強いヴォーカルを含め、結構骨太の感触のライヴ。"Spanish Guitar", "Train Leaves Here This Morning", "Silver Raven"等が今、生でライヴを体験しているようなリアルな感触で味わえる。全12トラック。2008作。Collector's Choice)

- \*AZTEC TWO-STEP:Aztec Two-Step A  
 (Rex Fowler&Neal Shulman の Aztec Two-Step の 72 年作。Produced by Jerry Yester。思い出山ほど。70 年代 SSW アルバムの名盤。72/2008 作。Collectables)
- \*BOZ SCAGGS:Moments/Boz Scaggs & Band C  
 (Boz Scaggs の 2 枚目{71 年作}と 3 枚目{71 年作}の " 2 on 1 "。共に Glyn Johns がプロデュース。この時代の有名な B.Scaggs は最高。思い出山ほど。71/2008 作。BGO)

(CD/B R I T A I N & I R E L A N D 他)

- \*BERNIE PARRY:Sailing To The Moon - And Beyond A  
 (Allan Taylor プロデュースによる B.Parry のデビュー作でブリティッシュ・フォークの名作 "Sailing To The Moon" {80 年作。レックは John Kirkpatrick, Bob Fox, Tom McConville, Allan Taylor} が同時代録音で全曲ギターの弾き語りの 8 曲のボーナス曲付で CD 再発。全 17 トラック。いやあ英国風味を増した Allan Taylor のような味覚と風合いが最高。ボーナスの 8 曲は「ボーナス」なんてとんでもない。特徴的なブリティッシュ・フォークスタイルのギターの伴奏による Bernie のヴォーカルは英国情緒たっぷりで抜群。Ralph McTell や Allan Taylor と並ぶ唄に酔わせられる。思わぬ贈り物。80/2008 作。Free Reed)

[DVD/ G U I T A R ]

国内製 DVD プレーヤーで再生可能

以下 Sound Technics 盤はメーカーの価格引き下げに付き再度仕入れ

- \*WIZZ JONES:Guitar Maestros Series 1 ¥3690  
 (音質画像選曲全てが素晴らしい W.Jones のギター弾き語りライブ映像。Martin Carthy とのギターデュエットによる "National 7" からスタートする "Main Feature" の 9 曲は M.CCarthy をしゃべり相手に懐かしい写真や話を交えながらのふと 70 年代の Wizz の音楽世界へとタイムスリップさせられる。30 年前に聴き親しんだ世界が生のリアルな映像と演唱で捧げるライブ映像。"Additonal Track" が 4 曲。ギター・ファンのみならず、ブリティッシュ・フォーク・ファンも SSW ファンも必見。2006 作。Sound Technics)
- \*MARTIN SIMPSON:Guitar Maestros Series 1 ¥3690  
 (音質画像選曲全てが素晴らしい M.Simpson のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature" では 10 曲をインストゥルメンタルを挟みながら、Martin の音楽の歩みを辿るように演唱。ほか "Additional Track" が 6 曲、"Bonus" ではハンゾー弾き語りによる "House Carpenter" に Martin のギターの製作者 Stefan Sobell のギター工房訪問等も。終始釘付け。ギター・ファンのみならず、トラッド・ファンも SSW ファンも必見。2006 作。Sound Technics)
- \*STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 ¥3690  
 (音質画像選曲全てが素晴らしい S.Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスーパースタッフで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- \*GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 ¥3690

(ギター・ファン必殺の Guitar Maestros Series の最新作は最近作  
"Captured From A Point In Time"で究極の美麗アコースティック・ギターの  
名演奏を披露したG.Giltrap."Main Feature"では8曲をインクルードを  
挟みながら、Gordonの音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダ  
ブル・アコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。ほか"Additional  
Track"には神業的名演奏が9曲{こんな美しい"Here Comes The  
Sun"は聴いたことがない!!}収録。加えてエレキギター演奏のワークショップ  
のおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面NTSCでもう片面がPAL。  
2006作。Sound Technics)

### [ DVD & CD / U S A ]

国内製 DVD プレーヤーで再生可能

\*STEVE EARLE:Live From Austin Tx(DVD) B

\*STEVE EARLE:Live From Austin Tx(CD) A

《RICHARD THOMPSON:Live From Austin.Texas のDVDとCDセッ  
ト特価¥4090》

(2000年11月、Austin City Limitsでのライヴ。バンドはEric Ambell{ギ  
ター}、Kelly Looney{ベース}、Will Rigby{ドラムス}。汗かきしゃくり上  
げるSteveのヴォーカルもバンドの重量感あるルーツ・ロック・サウンドも最高潮。  
60年代フォーク・ロックと70年代カントリー・ロックの香りを放つヴォーカルと音は何  
とも魅力。そんな中ギターの弾き語りも2曲。11曲目の"Goodbye"とラ  
ストの"Christmas In Washington"{心に沁みる名曲}。Bob Dylanや  
Woody Guthrieを想起させる歌唱で、彼のSSW/アメリカン・フォーク・シンガーと  
しての顔を垣間見せている。"King Of Roots Rocker"ここにあり。  
全15トラックの74分。2008作。New West)

### [ DVD / U S A ] NTSC all regions

国内製 DVD プレーヤーで再生可能

\*BRUCE SPRINGSTEEN:Classic Performance C

(B.Springsteenの初期のベスト・ライヴ集。ギターの弾き語りの渋いのか  
らバンドの利いたロックまで色々だが、初期のSpringsteenのフォークの匂  
いが濃かった時代の貴重ライヴが全14曲。英国でのみの発売を目的  
とした"iPod ready DVD"版。1988年と2005年の2バージョン。American  
Legends)

\*BIG BROTHER AND THE HOLDING COMPANY:Hold Me D

(副題"Live In Germany"。大きな野外フェスティバルでの15曲入りライヴ。  
ヴォーカルがジャニス・ジョップリンそっくりなSophia Ramosがヴォーカルの熱狂  
のライヴ。"Ball And Chain","Me And Bobby McGee"等ジャニス&  
Holding Co.のヒット曲が次から次。あるで60年代のロック・フェスのまま  
の空気とパワー。2007作。Dig Music)

### [ CD / U S A ]

\*A TRIBUTE TO BLIND ALFRED REED"Always Lift Him Up"¥2290

(当店発行の「副読本」{監修:片岡俊夫}付。以下「副読本」前文より抜  
粋。『昨年暮れ、ブライト・アルフレッド・リッドへのトリビュートアルバムが、  
PROPERというレーベルからリリース。リッドの名に覚えがなくても北米のル-

ミュージックに関心のあるリスナーならば、たいがい彼の曲は知っているのではないだろうか。ライナーがファーストアルバムで"How Can a Poor Man Stand Such Times and Live?"、「フィン・スパン・ミュージック」では"Always Lift Him Up and Never Knock Him Down"をとりあげているからだ。前者は最近、ブルース・スプリング・スティーンも「シーガー・セッションズ」で録音している。その人生のほぼ全てをウエスト・バージニア州内で過ごしたリドは1920年代から30年代に地元で人気があったシンガー&ソングライター、フィドラーである。企画の中心となったのはティム・オブライエンのようで、プロデュースは彼のほかにドン・ディックソ、マイケル・リプトンが加わった3人で行っている。企画とアレンジはたいへん良くできていて、原曲の雰囲気壊さず、なおかつ現代の聴き手に飽きさせないような様々な工夫がされている。ライナーは推薦の文を寄せているだけだが、ウエスト・バージニアに縁のある音楽家が多数参加しており、曲と歌手・演奏者の選択もヘテロから若い無名の人まで、よく考え抜かれていると思う。全19曲。2007作。Proper)

・ ・ A Tribute to Alfred Reed 副読本 ・ ・  
 Always Lift Him Up and Never Knock Him Down 片岡俊夫  
 ~ アルファの伝説の全盲のシンガー、ブライント・アルフレッド・リド ~  
 ブライント・アルフレッド・リド 彼の人生と時代 ティム・オブライエン  
 歌詞カード (全19曲) 片岡俊夫

\*JAMES McMURTRY:Just Us Kids A  
 (J. McMurtry の新作はやたらとサビでカッコイイ。旺盛なルーツ・ロック・サウンドにまみれて、低いキーのならず者の唄が闇を突き抜ける。Lee Clayton がエニキッシュに復活したような凄厲ルーツ・ロック系 SSW アルバムだ。Ronnie Johnson の地響きを立て唸るヘッズ、Daren Hess の切なドラムスに Ian McLagan のホンキートンクピアノに James の唸りを立てるロックギターとシャープなアコースティックギター等ほんまカッコ良過ぎ。滅茶苦茶 Great!!!ゲスト:Pat MacDonald{ルモニカ、ウオーカル}、Jon Dee Graham{ラップ・スティール}。2008作。Lightning Rod)

\*JEB LOY NICHOLS:Days Are Mighty a  
 (100枚限定ボーナスディスク付2枚組。伴リスのウエルズに引っ越したJebの新作は嘘みたいに穏やかなアルバム。ブックレットに「お話しお花」の昔話載っていることからして、童話チックな予感がしたが、いやあ涙がでそうなくらい唄と素朴な音楽が優しい。見開きジャケットの内側には"Time For The Get Back"の文字。すっかり田園生活を心地よく過ごす子ども目の輝きのJeb。この心地よさに一度はまったら中々出られない。夏のそよ風のような音楽。一足先に夏休み気分を堪能させて頂きました。w. Jennifer Carr, Andy Hamill, Loraine Morley, Jonathan Lee, Maria Ryan。2008作。Compass)

\*DANNY FLOWERS:Tools For The Soul A  
 (Danny 作の"Tulsa Time"はEric ClaptonとDon Williamsが、"Gulf Coast Highway"はEmmylou Harris, Nanci Griffith, Willie Nelsonがレコーディング。そのDannyの新作は同一人物?と疑いたくなる風貌の変貌{メカネをかけず、アゴ髭にロングヘア}とEmmylou Harrisとのデュエットの渋いカントリー調の唄。この唄はDonnie Wadeというギター職人が

らもらったギターの美しい響きの感動を唄にした唄で、身に沁みる古いアメリカ民謡調の唄。本作はカントリー調、初期 Ry Cooder 調、南部ロック調そしてゴスペル調(結構 Leon Russell っぽい)等、どれも唄も音楽の魂に触れるもので、一曲一曲アメリカン・ルーツ色が濃厚で土臭くかつ泥臭い。w.E.Harris, John Cowan, Steve Mackay, James Pennebaker, etc. 2007 作。Brash Music)

\*BUTCH HANCOCK: War And Peace A  
(あの B. Hancock がこんなヒューマニティ溢れる素晴らしいアルバムを 2006 年に発表していたとは知らなかった。「何人も他人を傷つけてはならない。ドゥが渴いた者ならば水を与えよう」と無伴奏でうたう反戦歌の "Give Them Water" で幕を開ける B. Hancock の本作は戦争の愚かさや悲惨さがある時はリアルにある時は皮肉っぽく、明日への希望を込めてうたう。デビュー時から Bob Dylan と比較されることの多かった彼だが、やはり初期 Dylan を想起させる彼本来の粗い肌触りの引きずるような唄に加えて一步引いたレイドバック或いはスタググックな或いは陽気な雰囲気曲調のアルバムもあって、全体的に膨らみが出ている。二流っぽい音作りもほんのり楽しい。w. Joe Ely, Jimmie Dale Gilmore, Rob Gjarsoe. 2006 作。Two Roads)

\*JIMMY HALL: Rendezvous With The Blues A  
(Johnny Sandlin のプロデュースでアルバム録音の Wet Willie の J. Hall の本作はディープ・サウズな本仕込みブルース。David Hood, Clayton Ivey, Johnny Sandlin, Jack Pearson, Bill Stewart 等による伴奏はデルタブルース色濃厚な南部ロック。Jimmy のヴォーカルも凄い。ブルースの巨匠が乗り移ったかのような気概でうたい通す。音楽もヴォーカルも恐ろしく骨太で一体感バツリ。3 ボーナストラック付きで計 14 トラック。2006 作。Rockin' Camel)

\*TIM O'BRIEN: Chameleon A  
(収録曲 16 曲全曲共作を含む自作曲の弾き語り。演奏楽器はギター、ブラス、バソーン、マンドリン、フィドル。一曲ごとに使用楽器の製作年とメーカー名が記されている。弾き語りでのアルバム制作は David Olney のアイデアだそうで、どの唄も今生まれたばかりの新鮮さで自在な弾き語りの唄が矢継ぎ早にうたわれていく。弾き語りの素朴さの中に Tim の体に染み込んだアメリカン・ミュージックの匂いが漂っている。オールドタイム、ブルース、ブルース、ラグタイム、Woody Guthrie タイプ・フォークから James Taylor タイプ・フォーク(タイトル曲 "Chameleon" は 9 歳の頃、サーカスで両親に買ってもらったカメオの思い出の唄で、James Taylor 風) 等等唄の玉手箱。2008 作。Proper American)

\*JACK SUNDRUD: By My Own Hand A  
(Poco の J. Sundrud の 2005 年の CD。発売を知ったのは最近。Poco には目がない私だが、ひいき目に見ても Poco 関係のは{やっぱりひいき目?} どれも爽やかで心優しくて良い。Jack の本作は全曲オリジナル又は共作。Jack は Poco の他のメンバーに比べて影が薄い存在だが、本作を聴けば、Poco の芯の部分というか重しというか、Eagles で言えば Don Henly 的存在感で Poco 風に迫ってくる。唄も凄く味がある。宝物がまた一枚。Jack の名曲 "Fathers Day" を今回 CD で再演してます。w. Rusty Young, Paul Cotton, Kenny Malone, Michael Rhodes, Troy

- Lancaster, etc. 終始幸せ気分...。2005 作。Dogpile)
- \*THE WILDERS:Someone's Got To Pay A  
 (Dirk Powell が共同プロデュースのオルト・タイム系ルーツ・ロック・バンド。実際にあった殺人者の物語りをベースにした自作曲を含むアメリカのルーツ音楽の匂い立つ彼等の音楽はヴォーカルもサウンドも古臭くてスルメ味だが大抵はディカというか結構挑発的。オルト・タイムの香りたっぷりの緩いの中からパンク・フォーク的な尖がったのまで柔軟で縦横無尽。2008 作。Trade Root Music)
- \*LONGVIEW:Deep In The Mountains A  
 (ブルグラスのスーパースターらしい Longview の再結成アルバム。メンバーは J.D.Crowe, Marshall Wilborn, Lou Reid, Ron Stewart, Don Rigsby, James King. 2008 作。Rounder)
- \*JJ CALE & ERIC CLAPTON:Road To Escondido A  
 (遅れ馳せの入荷。全 14 曲中 11 曲は JJ Cale の作詞作曲。徐々に聴く JJ の個性と魅力は不変。むしろ虚飾がなく、JJ の素の味わいが醸し出されている。本作は JJ のソロに Eric が飛び込んで、JJ の土俵で熟成したブルースやロックを二人が演唱した、という印象。ほとんど JJ のベースだが、Eric も JJ の知らなマイペースの中で、思いっきりソロでいぶし銀。Eric は JJ との共演でたっぷり充電できたのでは? w.Taj Mahal, Billy Preston, Willie Weeks, Steve Jordan, Albert Lee, etc. 大人のロック。聴くほどに味わい深い。2006 作。Reprise)
- \*J.J.CALE:Live(2001 作。Back Porch) A
- \*STEVE EARLE:Washington Square Serenade B  
 (昨年販売の CD と DVD のセットの限定盤。。DVD は国内プレイヤーで再生可。S.Earle の本作はまるでディアンズ・フィールド的雰囲気、初期 Dylan やそれを通り越してアラバマ・フォーク的土臭さに到達したりもする文字通りアメリカン・ミュージックの根っ子回帰志向アルバム。S.Earle のルーツ回帰の最高傑作。DVD はニューヨークのスタジオ・ライヴ 3 曲他で 37 分 24 秒。2007 作。New West)

### [ CD / U S A { female } ]

- \*NATASHA BORZILOVA: Cheap Escape A  
 (またぞっこの女性 SSW の登場。Natasha の魅力はひと言では難しい。先ず感性豊かなツボノとでも言おうか、女性的でデリケートな唄から勿論ルーツ・ロックまでその硬軟を加減する柔軟性、表現力の豊かさそして芯の強さは既に大物 SSW の風格。ほとんどのアルバムで Natasha とゲスト・ギター奏者とのダブル・アコースティック・ギターに Bob Britt なるスコ腕エレクトリック・ギター奏者のヘッズ抜群のエレクトリック・ギターが轟きかつ彩りを添えているのだが、この 3 本のギターが織り成すサウンドが恐ろしくカッコイイ。Natasha 自身ギター・サウンドへのこだわりがあるようで、多彩多層のギター・サウンドだけでもたっぷり美味しい。ナショナル・ギター、アコースティック・スライド・ギターそしてエレクトリック・ギターが絡むブルース・フィリグたっぷりなテイプなルーツ・ロックの "Real Flight" のカッコサなんかはもう最高!!! 凄い女性 SSW だ。2008 作。Hardley Music)
- \*RACHAEL DAVIS:Antebellu Queens A  
 (これまた魅力的な若き女性 SSW だ。Rachael の音楽の幅は Maria

Muldaur くらい広く深い。オールド・タイム、カントリー、ブルース、ジャズ、フォーク、ルーツ・ロック等アメリカ・ミュージックのルーツの本仕込みの味わいをキープしつつ、彼女の唄は個人的で私小説的。古いアメリカ音楽に身を寄せながら、個人の世界を酔うようにうたってるかのよう。自身ギターとバンジョーを爪弾いているが、Austin Nevins のエレキギターを含め、ギター系楽器の彩りや強弱や伝統的風合い等の表現力が総合的に絶妙で完成度が高い。少女趣味的夢見心地な世界から Maria Muldaur 的古色妖艶世界まで不思議な魅力の女性 SSW だ。古っぼくて新鮮。好きな SSW の Jake Armerding と Aoife O'Donovan が絶妙のハーモニーを聴かせてもいる。2008 作。(Fox On A Hill)

\*JANET KLEIN & HER PARLOR BOYS: Ready For You A  
(20 世紀初期のジャズや娯楽音楽の歌姫 Janet が Benny Bryderyn {ヴァイオリン}、Ian Whitcomb {ピアノ、ウクレレ}、Dave Jones {ストリング・パーサー}、Brad Kay {トランペット、ピアノ}、Tom Marion {ギター、バンジョー}、Bill Steele {ギター}、Dan Weinstein {トランペット}、Randy Woltz {ウァイブ、パーカッション} の Parlor Boys を引きつれて戻ってきた。古いデキシージャズ、ラグタイムそしてジャグバンド等のビブア色の音楽 {ウクレレの音色はブラジルのショロのようなポルトガル音楽の香りも} もご機嫌だし、Janet の SP 盤の香りの甘いウォーガルがまた魅力的。すっかり温泉気分の心地よさ。全 20 トラック {全曲に作曲された年が書かれていて、最も古いのが 1915 年で新しいのが 1935 年。ゲスト: Ralf Reynolds {ウァッシュボード}。2008 作。Ceour De Jeannette)

\*MARCIA BALL: Peace, Love & BBQ A  
(滅茶苦茶ソウルフル。2 曲ニューオーリンズ録音もあるが、テキサス録音とは思えないニューオーリンズ ~ アトランタの R&B とソウル・ミュージックの空気感が濃厚な Marcia の渾身の新作だ。お祭りの町ニューオーリンズのことをうたった "Party Town" で Dr. John スタイルでご機嫌に幕開けする {Dr. John がゲスト参加しているが、この曲では不参加} 本作だが、Marcia はアメリカ最南部の濃厚な R&B/ソウル・ミュージックを浴び、楽しみ、魂の唄をうたう。音も最南部色濃厚で最高にご機嫌だが、アップ・テンポのソウルフルなナム・のみならず、知らぬもの心に沁みる。とりわけラストの 2 曲のリケーン被害の唄 "Ride It Out" と達者を祈る唄 "I Wish You Well" はその前までが熱いナム・のオパール・レド・ただただにその唄の純粹さと素朴さが身に沁みもする。ゲスト: Dr. John, Tracy Nelson, Stephen Bruton。2008 作。Alligator)

\*SUSIE BURKE & DAVID SURETTE  
: When The Small Birds Sweetly Sing A  
(待望の S. Burke の新作はギター名手の D. Surette とのほんのりトラッド風味が漂う心洗われる共演盤。D. Surette の演奏は控え目で、絶え間無く流れるギター、マントリン、ブズーキ、シタール等の演奏は Susie の清涼な空気感のある穏やかな唄と一体となって、すこぶる気持ち良い。選曲は Pierce Pettis や David Roth のような SSW のナム・に加えて Jean Ritchie や Fairport の Chris Leslie のナム・やフレンチ・カナディアン・のトラッド曲等で Susie の唄は春を迎えて目を醒ました森の小鳥のような気持ちの良さで優しく唄う。D. Surette の縁の下の力持ち的美技演奏も素晴らしい。1 トラックだけインスト曲が収録されている。

D.Surette のブス-キをフィーチャーした演奏でカリフォルニアの名曲"Blind Mary"とアイリッシュ・トラッドの"The Rambling Pitchfork"がトレードだが、ここでもD.Suretteはその曲の味わいを味わい自ら楽しむように演奏している。2008作。(Madrina Music)

\*KARLA BONOFF:Live

D

(2004年10/24、カリフォルニアでのライブ。2枚組。21曲。1曲のみ2005年7/30、東京でのライブ。バンドはKenny Edwards{ギター、マンドリン、ウオーカ他}、Nina Gerber{ギター}、Scott Babcock{ドラムス}。Karlaのギター又はピアノの弾き語りにはバンドがソフトな伴奏を付けた音作りで、Karlaの優しい歌声が気持ちよいライブ。女性SSWの原点的魅力が清々しく伸びやかに発揮された一曲一曲が採れ立てのフレッシュさの唄達。全く期待してなかったが、いやあ物凄く良い。Jackson Browneのアコースティック・ライブくらい唄が美味しい。ラストはトラッドの名曲の"The Water Is Wide"。この唄涙なしには聴けない。四つ折りジャケット。2007作。(Karla Bonoff)

### [ CD / CANADA ]

\*KRISTIN SWEETLAND:Own Sweet Time

B

(KristinはプロデューサーのKen Whiteleyが惚れこんだのも納得の魅惑の女性SSWで多才ギター奏者。先ずアコースティック&エレキギターのほかハモンド・ギターにバングジョーまで爪弾く、Kristinのギター奏者としてのスピリットの高さと多様なサウンドを愉しむ感性に驚かされる。加えてKenをはじめメロディがギター系楽器で彩りを添えたサウンドの新鮮さと鮮烈さとカッコに耳を奪われもする。Kristinの唄は女性的感性に裏打ちされた旅の思い出や夢を旅するような詩的な唄で、一曲一曲が深い味わいの彼女の唄の世界を引き立たせる大胆かつ微細かつ多様な音作りは見事としか言いようがない。一曲目の毅然として気高いブリッシュ・スタイルのギターのイントロからすっかり夢の世界。w.Ken Whiteley, Stephen Ferring, Anne Lindsay, Suzie Vinnick, George Koller, etc. カタリ的と言われれば極めてカタリ的。2007作。(Arbora Vita Music)

\*BEVERLEY STREET

B

(featuring David Essig, Romi Mayes, The D.Rangers, etc. 本作は全曲David Essigのカバー集。2005年にフェイスでDavidとRomiがお互いのCDを交換したのがきっかけでRomi&FriendsとDavidとによる本作の制作につながった。半数が70年代のDavidのアルバムで、あの時代のDavid Essigや亡きWillie P.Bennettのオールタイム・ファイリングたっぷりな土埃舞う土臭いルーツ・ロックをバンドで表現している。当時のDavidのアルバムより、より土埃が舞うくらいのRomiとDavidの渾身のウオーカとバンドの粗削りなサウンドだ。「70年代のアルバム」と言われても誰も疑わないだろう。2007作。(Dollartone)

### [ CD / UK , IRELAND ]

#### ( FOLK , SSW , ROCK )

\*PAMELA WYN SHANNON:Counting Autumn

D

(Shirley Collinsが太鼓判の全曲のブリッシュ・フォーク・タイプのアメリカの

女性 SSW の Pamela の初回手作り限定盤(CD-R)500 枚の最後のストックを本人から買い取り。Pamela 手書きの番号入り。彼女自身が 70 年代のブリティッシュ・フォーク大好き女の子。Vashti Bunyan や Nick Drake や Pentangle 等、70 年代の優美ブリティッシュ・フォークのイコを感じる夢想的でフレッシュな空気感漂う唄と音の世界の中で Pamela は夢の中の唄い人。Pamela 自身が奏でるギター、グロックスピール、ダルシマ、バンジョー、フルートに Liz Knowles のヴァイオリン、ヴァイオラ、Anna Patton のホイッスル、Michelle Kinney のチロ等による美しく彩られた音楽は 70 年代の優美ブリティッシュ・フォークの美味しいとこばかりを摘み上げた感じだが、本人のヴォーカルも音楽も始終ゆったりと流れてリラックス・ムード。メールで「今年の夏、ペンタングルが出演するイギリスのフェスティバルに出演するの。ロンドンのペンタングルの再結成コンサートにも行くつもりよ。あなたも来ない?!」とメールが来た。行きたいけど先立つものが…。2007 作。Girihenge)

\*BERNIE PARRY:Sailing To The Moon - And Beyond A  
(Allan Taylor プロデュースによる B. Parry のデビュー作でブリティッシュ・フォークの名作"Sailing To The Moon"{80 年作。バックは John Kirkpatrick, Bob Fox, Tom McConville, Allan Taylor}が同時代録音で全曲ギターの弾き語りの 8 曲のボーナス曲付で CD 再発。全 17 トラック。いやあ英国風味を増した Allan Taylor のような味覚と風合いが最高。ボーナスの 8 曲は「ボーナス」なんてとんでもない。テリカートなブリティッシュ・フォークスタイルのギターの伴奏による Bernie のヴォーカルは英国情緒たっぷりて抜群。Ralph McTell や Allan Taylor と並ぶ唄に酔わせられる。思わぬ贈り物。80 /2008 作。Free Reed)

\*DAVID LEWIS:Ghost Rhymes C  
(Andwella の D. Lewis ではないもう一人の素晴らしい SSW の D. Lewis の待望の新作。本作も John Wesley Harding が全曲でまるでデビューのように付合っている。この David の英国人的感性が光る弱々しい感触が何とも言えず魅力。結構ロックっぽい音作りのアルバムもあるのだが、丁度 Andwella でのもう一人の D. Lewis のようにロックがずっしりとしているため、ヴォーカルの魅力が凄く生えている。この D. Lewis の陰影に富む唄そして細やかな音作りは本当に魅力的。男性 SSW だが SSW ファンは皆胸キュン保証。2007 作。WOW)

\*JIMME O'NEILL:Real C  
(スコティッシュ・バンド "Silencers" のリーダーでヴォーカルの J. O'Neill のギター弾き語りを中心にしたファースト・アルバム。何よりアコースティック・ギターの音色と内省的或いは空想的唄の光沢そして奥行きある響きが音響的にクリアで美しいのが耳を引く。音響が恐ろしく良い。自身「本作はフォーク、ブルース、カントリーに熱狂し、音楽を始めた頃のルーツ回帰のアルバムでロック・コンサートの翌朝朝 6 時に唄をうたう感じ」と言っているが、本当に早朝の清々しい響きと共に Jimme のひとりぼっちだが不思議と楽しそうであつた唄が心地よく流れてくる。ヴォーカルとサウンドの響きや光沢そして美しいメロディが凄くイギリス的。2008 作。Keltia Musique)

#### [ CD/FAIRPORT&ALBION FAMILY ]

\*LARK RISE BAND:Lark Rise Revisited B  
(Ashley Hutchings のニュー・グループ。アルバムは Ashley に Ruth Angel {ウ

ォーカル、ウァイオリン他}、Judy Dunlop{ウァーカル}、Simon Care{ウァーカル、モー  
ディオン、コンサート、ダンス}、Guy Fletcher{ウァーカル、ウァイオリン、トランス他}、  
Mark Hutchinson{ウァーカル、アコースティック&エレキギター}。Flora Thompson の  
没後 60 周年記念での公演をきっかけに 2007 年に結成されたバンド。  
イングランドのカントリーサイドの美しい風景と美しい庭が目目に浮かぶ極め  
てイングランド的な極上のトラッド・アルバム。モリス・ダンス曲を所々に挟みな  
がらの Ruth 他、の牧歌的でエレガントなウァーカルが美味しい。美しき思い  
出のイングランド...。2008 作。Talking Elephant)

\*SWEEPS "A Joyful Celebration Of The Morris" B  
(Albion Dance Band, Morris On Band, Grandson And Great  
Grandson Of Morris On, Chris Leslie, Tickled Pink, Albion  
Band, Cobbled Together の音源からの生え抜きもモリス曲が全 14 トラ  
ック。BGM で流してるだけでモリス祭り気分。2008 作。Talking Elephant)

\*ALBION MORRIS: Still Dancing After All These Years B  
(Albion Morris は Ashley Hutchings のモリス・ダンス曲のロッキン・ア  
プローチに  
影響を受けて 1972 年に結成されたダンス・付グループ。本作は 2002 年の  
30 周年記念にどこぞの屋根裏部屋{よほど広い屋根裏部屋?} で録  
音されたもの。メンバーは Shirley Collins{ここではレコーディング役}、  
Graeme Taylor, Michael Gregory, Philip Picket, Tom Leary, John  
Watcham, Ian Culter, Jon Davie 等モリス界のツキモノを含むメンバー。どこ  
かに Ashley もいそうなもうひとつの Albion Dance Band。2008 作。  
Talking Elephant)

\*RICHARD THOMPSON:  
The Life And Music Of Richard Thompson ¥7200  
(通常価格より約 2000 円割引。R.T. の 5 枚組みボックス・セット。ボーナス CD 付。  
「ボーナス CD」は本来箱の中のはがきを各自が FREE REED 社に郵送し、  
送られてくるものですが、今回はその必要はありません。本ボックス  
セットに付けてお届けできます。FREE REED 社より特別に仕入れ分の  
「ボーナス CD」をもらっています。2006 年。Free Reed)

\*SANDY DENNY: The Best Of BBC Recordings A  
(既発売の BBC 音源の CD からの選りすぐりの 16 トラック。P12 のブックレットは  
S. Denny の手書きの歌詞やカットや写真色々。2008 作。2008 作。  
Universal Island)

\*SANDY DENNY: The Music Weaver Sandy Denny "Remembered"  
¥3190  
(2 枚組編集 CD。全 36 トラック。P16 のブックレットは David Suff の Sandy Denny  
ヒストリーと曲目データ。Led Zeppelin with Sandy Denny の "The Battle  
Of Evermore" も含む。2008 作。Universal Island)

### (CD/ ENGLAND {Free Reed リイシュー・盤})

\*ROBIN & BARRY DRANSFIELD: Popular To Contrary Belief A  
(Free Reed のカワウガの中で最も再発が待ち望まれていた 70 年代ブ  
リ  
ティッシュ・トラッドの名盤だ。77 年作の本作は Robin & Barry による初の  
デ  
ィッシュ・アルバムで伴奏はフィドルとギターのみ。二人の和声してデュ  
エット  
はイングランドのトラッドの気品と芳香に満ちたもの。奇跡の名品だ。こ  
れ以上のブ  
リ  
ティッシュ・トラッドのアルバムは中々望めない。今聴いても身ぶ

るいしてしまう素晴らしさ。。ライヴ、アウトテイク、デモテープ音源からの7  
トラック付で全21トラック。77/2008作。Free Reed)

\*THE OLD SWAN BAND:No Reels

A

(Rod&Danny Stradling 率いる南イングランドのダンスグループの76年のデ  
ビュー作に未発表セッション音源から3曲を加えてCD再発。全19トラック。MM  
-は他にMartin Brinsford,Fi Fraser,Jo Fraser,Ron Field。今日  
のイングランドのダンス音楽の復興に及ぼした影響は計り知れず。ドキュ  
メンタリー・ガイド付。76/2008作。Free Reed)

\*THE OLD SWAN BAND:The Old Swan Band

A

(ダンス音楽としてのみならず、イングランドのトラッド・アルバムとして魅力的  
なOSBの78年の2枚目。コンサーティナ&トロンボーンのMel Deanの加入効果が  
バンドの音楽は躍動的でグイミクに変身し、男女の古風なシンクソングは  
大空をかけるように輝いている。とりわけFi&JoのまるでKate&  
Anna的風合いの美しいヴォーカルは絶品。今改めて聴いて、彼等の音楽  
の大らかな素晴らしさ驚かされる。イングランドのダンス音楽の一つの  
頂点的素晴らしさを大らかに見せてつけている。78/2008作。  
Free Reed)

\*JOHN KIRKPATRICK:Going Spare

A

(フォーク・ロック、エリス・ダンス演奏家そしてイングリッシュ・シンガーとしてイングランド  
の音楽の復興に対して旺盛で貪欲だった時代のエリキッシュな78年作  
にRichard Thompson,Simon Nicol,Dave Mattacks,Dave Foister  
とによる1980年作でDingleのシングル盤から2曲のボーナス曲を加えて  
CD再発。音楽もそうだが、Johnの腹の底からうたうヴォーカルはすこぶ  
る大らか。w.Sue Harris,Nigel Pegrum,Bill Caddick,Stewart  
Goldring,etc. ボーナスの2曲はJohnがヴォーカルのエレクトリック・ダンス曲。  
Tiger Mothっぽい。あと1978年のKarl DallasによるJohnのインテ  
リュエ入。78/80/2008作。Free Reed)

\*JOHN KIRKPATRICK:Plain Capers

A

(イングランドのエリス・ダンス・ミュージックの重要作。76年作だが、今聴いても全  
く古さを感じさせない。J.Kirkpatrickのシャープ力あるシャラ演奏  
が凄い。w.Sue Harris,Martin Carthy,Martin Brinsford,Fi  
Fraser。心は夏のフォーク・フェスのエリス・ダンスの会場へ。76/2007作。Free  
Reed)

\*FLOWERS & FROLICS:Bees On Horseback

A

(70年代のイングリッシュ・カントリー・ダンス・リヴァイヴァルの重要ダンス・バンドで今  
も現役で活動中のFlowers&Frolicsの77年のデビュー作。Focusとい  
う雑誌ではフォークLPチャートで第2位を記録したという。各MM-はその  
後イングランドのダンス・ミュージック・シーンで活躍。彼等の音楽はイングランドの  
カントリー・ダンスとミュージック・ホールの音楽だが、ヴァルティエ音楽のようなおど  
けた楽しさがあって、トラッド音楽の枠を超えて魅力的。8トラックのボ  
ーナス曲入の22トラック。ゲスト:June Tabor&Bob Davenport。77/2008作。  
Free Reed)

\*ROARING JELLY:Golden Gates / MICHAEL HEBBERT

:The Rampin' Cat

A

(イギリスのラグタイムやスキップ、ジプシー音楽、古いジャズやポピュラー音楽そし  
てビブア色の愉快的な唄のコミック・バンド Roaring Jelly{Derek Pearce,

Clive Harvey, Mick Hennessey}の76年のデビュー作とパフ・ミュージシャンでコンサート奏者の Michael Hebbert の76年のデビュー作の"2 on 1"。Roaring Jelly の古めかしくて愉快的な音楽は楽しい。様々な古臭い音楽を自己流に焼き直してどこか上品に楽しませる。ライヴを聴く楽しさ。Michael のコンサートはおしゃべりするというかひとりコンサート音そして様々なトラッドを中心にした音楽のリズムと牧歌的メロディを愉しむような個人趣味的音楽。ゲスト:Rod&Danny Stradling, John Tams, Steve Bentley, Andrew Frank(ヴォーカル)。全22トラック。76/2008作。Free Reed)

\*ALISTAIR ANDERSON: Concertina Workshop A  
(副題"Traditional Music On The English Concertina Played Alistair Anderson"。High Level Ranters で今もコンサート演奏家として教師として活動している Alistair の74年作。本作に即した28曲収録の楽譜はイングリッシュ・スタイルのコンサートを学ぶ生徒に人気だとか。そう言われれば、リズム感が確かで、小気味良く、おどけた感じもある演奏はコンサート音楽の楽しさと味わいとがきっちり表現されていて、模範演奏としては最高の音楽。w. Dave Richardson{Boys Of The Lough}, Tich Richardson, Geoff Harris, Graham Pirt{見事なトラッド・シンキング!}。A.L.Lloyd のオリジナル・ノート付。14トラックの28曲。74/2008作。Free Reed)

\*THE BALLADS OF PETER BELLAMY  
"Big, Broadside & Barrack Room" A  
(イングランドのトラッド・シンガーの中でもとりわけ威光を放ったシンガーの P. Bellamy の未発表&希少音源曲を多数含む編集CD。全17トラック。未発表音源で"Schofield Archive"とされる3曲や EFDSS 盤"Second Wind"収録の3曲ほか Peter のあの揺るぎ無い感動のシンキングがたっぷり拝める。w. Copper Family, Watersons。2008作。Free Reed)

\*THE TRANSPORTS "The 1977 Ballad Opera By Peter Bellamy" A  
(オーストラリアへの囚人の搬送の歴史的事実を元に制作されたバラッド・オペラで歴史的名盤。発売年に"Folk Album Of The Year"に輝き、その30周年記念に再リリース。Peter Bellamy をはじめ、June Tabor{若々しい!}, Nic Jones, A.L.Lloyd, Martin Carthy, Norma Waterson, Mike Waterson, Vic Legg 等の素晴らしい歌唱と共に楽しみ下さい。ラストはカバー曲で Fairport による"Dance: The Convicts' Wedding"の豪快なエレクトリック・トラッドで幕。オリジナル・ノート付。77/2008作。Free Reed)

### [ CD/ ENGLAND ]

\*ROBIN DRANSFIELD: A Lighter Touch D  
(これは驚きの2枚組CD。Disc 1 が80年作の"Tidewave"で Disc 2 が72年の Medway Folk Centre でのギター又はバンジョーの弾き語りのライヴで全曲未発表音源。このライヴが素晴らしい。ともするとトラッド・シンガーとしては Barry Dransfield の方の注目度が高いが、Barry の70年同時期に録られた Robin の唄は Barry の70年とに劣らずブリティッシュ・トラッドの香り高き伝統歌の数々なのだ。ライヴは唄の解説を入れながら進められるパターンで"Cold Blow&A Rainy Night"や

"Scarborough Fair"等全14曲。Nic Kinseyプロデュースの"Tidewave"はBarry Dransfield, Christian Courhan, Lea Nicholson, Nick Greenwood他のバックアップで、英国情緒香るSSW然としたアルバム。全11トラック。P20のブックレットはColin HarperによるRobin&Barryの歩みとRobin自身によるRobin Dransfieldストーリー。Robinからの思わぬ贈り物。77/80/2008作。Hux)

\*CRUCIBLE: Love & Money

B

(シェフィールドの4人組{男女各2名}トット・グループのCrucibleの3枚目はFellsideから。イングランドの伝統曲に集中して制作された本作は「これぞ理想のイングランドのトット！」と吹聴したくなるほど素晴らしい！ Jess&Helenaの両女性シンガーのイングランド的優雅さを薫らせる凛として美しいシンキングとデュエットに加えて、ホーダー・バグパイプ{この楽器の導入がトット・サウンドに典雅な風合いを添えている。トラック10でのミス・ダンス曲のメロデーでの優雅な前半曲からダンスへの展開はワウワウ}、フィドル、ヴァイオリン、キーボード、ギター、ピアノによる優雅さと躍動感を併せ持った{Spier&BodenやEliza CarthyやKerr Fagan Harbron+}見事なトット・サウンドは完璧。Jess&Helenaの美しいシンキングにうっとりしながら、不思議な{時として滑稽な}トットの世界へ。2008作。Fellside)

\*BENJI KIRKPATRICK: Boomerang

C

(John Kirkpatrickの息子でBellowhead, FaustusのBenjiのソロ。1曲を除き全曲Benjiのオリジナルで占められた本作はBellowheadでのパワーをそのまま自身のソロに注入したような気骨あるブリテン島調SSWアルバム。アコースティックであろうが、エレクトリックであろうが、全身全霊を傾けた気合の入った英国調のいわばフォークロックと共に唄が熱い。イングリッシュ・トットの型或いは自身の型を破ろうとするベクトルが強く感じられる快心作。John Kirkpatrick&Sue Harrisのご両親もバックアップ。2008作。Navigator)

### [CD/ SCOTLAND ]

\*A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN

C

(5/15入荷予定。2005年12月に急逝したハイランド・パイパーのGordon Duncanの名を冠した基金{パイプ音楽と若手伝統音楽家支援が目的}立ち上げコンサートのライヴCD。出演者はDougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9, Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever, Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band, Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more. 2008作。CDの売上は基金に。Greentrax)

\*LAU: Live

a

(タムソリ発行「Lau読本」付。待望のLauの新作です。以下「読本」より引用。「1曲目の"Stewarts"はスコティッシュのマーティンの作曲で3曲のメロデー。幕開けにふさわしいアコ的美丽な序奏に始まり、フィドルが追って美しいメロディを奏で、またそれを追ってギターが優しく奏でる。予定調和のお目覚め音楽からじわりじわりとスライルを描きながら次第にガムテージが上昇し、最後の"Last Week's Efforts"で不協和音で遊び

ながら爆発？して終わる。ラーウならではの展開というか、観客はただただ至福の展開だ。もうノックからラーウの完全無欠の「活きた音楽」に絶叫させられる。2曲目の"Banks Of Marble"はス・ライスというピート・シガ-の近所に住んでいた農夫の作詞作曲でウイヴァースそして最近ではギター奏者のレオ・コックがレコーディングしている炭鉱夫の労働歌。フィドルとアコそしてギターが緩急自在で激性を帯びた伴奏を繰り広げる中クリスは毅然とした歌唱でうたい切っている。クリスの歌唱では珍しく気負い立っている。炭鉱夫が多かったスコットランドでのライヴだからこそ意味を持つ唄であろう。{船津}。彼等の音楽に歓喜せぬ者はなし。2008作。Compass)

### ラーウ読本

世界最強のケルト系セッションミュージシャンのユニット「ラーウ物語」	船津 潔
グループ名の由来/各メンバーのプロフィール/ラーウ誕生(台所セッションから世界へ)/ラーウを育てたエディンバラの音楽シーン/関係CDリスト他	
ラーウの音楽に歓喜せぬ者はなし ~ラーウの新作「LIVE」を聴いて~	船津 潔
歌詞カード Banks Of Marble	生山早弥香
歌詞カード Unquiet Grave	殿井 博
「安らぎのなまこ」とその周縁	殿井 博
ディスコグラフィ	

\*KRIS DREVER:Black Water a  
(back in stock。Lauデビュー前に発売し、BBC Radio2で"Horison Awards"賞受賞のLauのシガ-とギターのKrisのデビュー作。本作はスコットランド風味の極上のSSWアルバム。緩急自在な自身のギターの弾き語りを中心にうたうKrisの唄は熟成した味わいで、朗々たるシンキングはヴァレラ・シガ-の風格。Eddi ReaderやKate RusbyとのデビューもKrisの唄の旨味が引き立ってさえいる。w. John McCusker{デビューでもある}, Kate Rusby, Eddi Reader, Ian Carr, Donald Shaw, Andy Cutting, Ewan Vernal, etc. 2006作。Compass)

\*CAPERCAILLIE:Roses And Tears a  
(現在最強メンバーのCapercaillieによる横綱級ケルティック・トラッド・アルバムだ。Karenの唄は、共に心に沁みる反戦歌のJohn Martyn作"Don't You Go"とメンバーのDonald Shaw作"Soldier Boy">{この曲の歌詞"Roses And Tears"がアルバム・タイトルになっている}の2曲以外はすべてケ-リック語の唄。ケ-ル語の楽しい遊び唄から勇者を湛える心に沁みる美しい唄までKarenの唄はハイランドの人々の心に迫る歌唱で魅了する。音楽はトラッドとロックのワを超えてケルティック・ケルグとでも呼びたい志向性で雑食性旺盛に最先端のスコットランドの音楽を縦横無尽に創作している。このメツなら何でもできる。2008作。Compass)

\*EMILY SMITH:Too Long Away C  
(あまりの美声故にコンテポラリー路線まっしぐらと思いきや、嬉しいことに本作は伝統音楽回帰というかスコットランド回帰志向。選曲はトラッドを中心にスコットランドの風景やスコットランド人的感性が滲み出たオリジナルで持ち前のとびっきりの伸びやかな歌唱でうっとりさせる。トラッド志向の曲が多いことで彼女の音楽に芯のようなものが出来て、オリジナルの女性的感性が光るクリスタルな唄を活かす効果も上げている。丁度

Cara Dillon 的魅力を放っている。ハックのコンテンポラリー・ケルティックな絶妙の演奏も完璧。2008 作。Shoeshine)

\*TRANSATLANTIC SESSIONS 2 VOLUME TWO C

(Aly Bain, Paul Brady, Eddi Reader, Maura O'Connell, Tommy Hayes, Sharon Shannon, James Grant, Iain MacDonald, Jerry Douglas, Nanci Griffith, Ishbel McAskill, etc. 98 作。Iona)

### [CD/ IRELAND系] 5/14 入荷予定分

以下の新譜 CD は実は 4 月 25 日に発注していて、遅くとも連休明けに到着予定の商品でした。連休が明けても届かないので、業者に尋ねたところ、「その注文メールは受け取っていない」との返事で、ショック。急ぎよ再注文。重要作が多いだけにコメントが書けず残念。売行きにはコメントのあるなしは関係ないかも知れませんが...

\*JAMIE SMITH, COLETTE O'LEARY & BRIAN KELLY

:The Long Notes C

(ハヅレとマントリノのオール・ 아일랜드・チャンピオンで 2006 年作 "Plain Of Jars" が素晴らしかった Brian Kelly に Bumblebees のアコ奏者の Colette O'Leary にフィドル奏者の Jamie Smith の 3 人組。ゲスト: Tim Edey (知てイオ)。Sharon Shannon と Lunasa が大推薦。楽しみ!)

\*FERGAL SCAHILL: The Dusty Bridge B

(「ゴールウェイ出身のフィドル奏者の素晴らしきデビュー作。恐るべき才能による古い曲と新しい曲の選曲」とのこと。これも楽しみ! FSCD001SCAHILL)

\*CEOL AGUS FOINN "Music And Songs From The Willie

Clancy Summer School" ¥2980

(数十年に及ぶ Willie Clancy Summer School の豊富な音源からの 40 トラックの 2 枚組 CD。PJ Crotty, Micho Russell, Junior Crehan, Panny Canny, PJ Hayes, Zoe Conway, Gerry Commane, Joe Ryan, Mick O'Brien, Francie McPeake, etc. という信じられない顔ぶれ。RTE)

\*CHRISTIE HENNESSY: The Two Of Us ¥3290

(叙情派 SSW の故 C. Hennessy のデビュー集。デビューの相手は Paul Brady, Christy Moore & Luka Bloom, Mary Black, Frances Black, Maire Brennan, Tommy Fleming, Luke Concannon & Liam O'Connor, Hermione Ross, etc. Catalogue Number: 1767327)

\*FIONNUALA GILL: Whispers of Love C

(Anuna の美声ソング - の Fionnuala のデビュー作。「アイリッシュ・ケルティックそして愛唱歌」とのこと。FGCD0701)

\*SEAN TYRRELL: The Best Of... C

(ア일랜드で敬愛されている SSW の中の SSW の S. Tyrrell の 14 曲中半分が新録のベスト盤。EUCD1859)

### [CD/ IRELAND系]

\*MAEVE DONNELLY WITH TONY McMANUS

:Flame On The Banks:

B

(東ゴールウェイ出身で現在クアを拠点に活動しているオール・アイルランド・チャンピオンのフィドル奏者 Maeve とスコットランドの7月来日予定の現在最高のケルティック・ギター奏者の Tony のデュオアルバム。ゴールウェイの音楽家のダンス曲を中心にクアやスライク・ヤシュリー・ルーク等の音楽家のダンス曲や1920年代のダンス曲はたまたアイルランドから離れてスコットランドのカントリー・ダンス曲やノースアジアのスイングっぽい楽しい曲等を瞬発力ある胸すくフィドルで楽しませる。相棒の Tony はギター伴奏の域を超えて Maeve の躍るフィドルと二羽の舞う蝶のようにハーモニーする。Tony のギターは女性的。かゆいところに手の届くワパタンじゃないギターに包まれて Maeve のフィドルは最高にダンスし、うたっている。Maeve の滑らかなフィドルリングと Tony の優しいギターが凄く心地よい。二人のデュエットする楽しさが伝わってくる。今年のベスト・アイリッシュ・フィドル・アルバム候補。2008 作。Maeve Donnelly)

\*KARAN CASEY:Ships In The Forest

¥2090

(「Karan Casey 読本」付 Karan Casey の待望の新譜。『本作は10曲中8曲が伝統歌(内1曲はロバート・バーンズ作)で、残り2曲のマーティン・フューレイ作"Town Of Athlone"もジョニ・ミッチェル作"The Fiddle And The Drum"も現代のバラッドとして伝統バラッドと同等にうたわれており、実質的に「伝統歌~バラッド回帰」の内容だ。これまでどういう形であれソラスを含めたカランのアルバムは洗練されたアイリッシュ~ケルティック・サウンドの演奏を伴っていた。しかし本作は「今日的アイリッシュ~ケルティック・サウンドからの脱皮」をしつつ、「伝統歌~バラッド」世界をより一層深みのある物語りの世界へと深化させている。カランならではの凜として寂寥感漂うシンギングここに極めりの感さえある』(船津)。Karan Casey 読本より。2008 作。Compass)

#### Karan Casey 読本

カラン・ケイシーの歩み、そして魅力

白石和良

「灰色セレキー」とその周縁

殿井 博

寂寥感漂うシンギングここに極めり。背後にフランク・ハートの霊?

~カラン・ケイシーの新作「森を回遊する船たち」を聴いて~

船津 潔

フォト・ギャラリー-

ディスコグラフィ-

\*MARY BLACK:25 Years,25 Songs

¥2980

(アイルランドの歌姫の大御所 M.Black の25周年25曲収録2枚組編集盤。"Sweet Love","If I Have To Go"の新曲2曲を含む。どれもが名曲。2008 作。3U)

\*TONY DePARCO:The Sligo Indians

B

(T.DeParco はニューヨークのアイルランド移民とイタリア移民が接して生活する地域で両国の血を引くスライク・スタイルのフィドル奏者。彼の音楽やニューヨークのアイリッシュ・ミュージックについて丁寧に書かれたP35ブックレットを読むだけで骨が折れるが{先祖や親戚がホクシグのスターだったり、Chick Corea のベース奏者だったり、ドゥワーフのシガー-だったり。1970年代初め"スライク・ミュージック"が好きな者同士一緒に演奏したという Kevin Burke

が賛辞と祝辞を寄せている}、当の本人はスコットランドのMichael GormanのFolkways盤から入って、Michael ColemanやJames MorrisonやPaddy Killoran等の1920~30年代のフィドルに傾倒。百戦錬磨の凄腕のスコットランド人だけあって1920~30年代直系のフィドルは毅然としてシャープ。当然のことながらリズムがしっかりしていて、それだけで美学の域。滅茶苦茶Great! ゲスト:Kevin Burke,Peter Horan, Jerry O'Sullivan{彼のバグパイプとのデュエットは抜群},Charlie Lennon, Seamus Tansey,Seamie O'Dowd,Natalie Haas,etc. 2008作。Smithsonian Folkways)

\*JACKE DALY:Music From Sliabh Luachra B  
(back in stock.1977年のデビュー作。Ossian)

\*EDDIE BUTCHER; AND JOE HOLMES & LEN GRAHAM A  
:Ballads And Songs Of The North Of Ireland  
(Paul BradyやAndy IrvineやLen Grahamに影響を与えたという伝説のトラッド・シンガーのE.Butcher{1900-80}の76年作"I Once Was A Daysman"とJoe Holmes{1906-78}&Len Grahamの76年作"Chaste Muses,Bards & Sages"が1曲のボーナス曲入で奇跡のCD復刻。全21トラック。共にNeil Wayne{Free Reedの社長}とLyn Murfinが75年に北アイルランドで収録したもの。Eddieの人間味溢れる親しみやすいシンキングそしてJoe&Lenのこれまた朗々たるヨ及びデュエット加えてリリキング・デュエットの素晴らしさは時を超えて味わい深い。リジナルライナーノート付。76/2008作。Free Reed)

\*GERALDINE BRADLEY:From The Rising Spring C  
(アーマーの伝統音楽一家で育ったトラッド・シンガーのGeraldineのデビューアルバム。Na Dorsaのアルバムで屈指のフィドルのPaul BradleyはGeraldineの弟。Geraldineのシンキングは清々として真っ直ぐ。ゲール語の唄が9曲で英語の唄が4曲という構成だが、バグパイプも含めギター、ブラス、フィドル、ホイッスル、チェロ等の伴奏はほとんど各唄に対して一台の楽器が唄の伴奏を担っていて、Geraldineのシンキングとデュエットするようなスタイル。そこから生まれたGeraldineの唄は一聴素朴過ぎる感を持ちがちだが、聴くうちに清々しいシンキングの持つ抑揚や節回しそして凜とした美しさや寂寥感等がじわりじわりと身に沁みてくる。きりっとトラッド調の中で1曲オルト・タイムな曲調のチャイム・バラッドが12曲目に収録されている。"Henry Lee"という殺人者のバラッドでBob Dylanのヴァージョンを含むと書かれてる。全体的にAnne Briggsのような感触。見逃されてはならない素晴らしいトラッド・アルバムだ。w.Neil Martin,Paul Bradley,Donal O'Connor,Martin Quinn,Alan Burke, Noel Lenagan。歌詞は英訳付。2007作。Coolnacran)

\*RATTLE THE BOARDS:The Parish Platform C  
(1枚目が98年だから10年ぶりの新作。余談だが、Irish Music Magazineのインタビューで「Martin Hayesの父」と冗談。フィドル名手のPat RyanにDanuのアコ奏者Benny McCarthyそしてJohn NugentとJohn T.EganのRattleの面々とゲストによるアコ、バグパイプ、ギター、バグパイプ、フィドル等による演奏は1920年代のFlanagan Brothersのような感触で何か懐かしい感じの雑食的でイリッシュで冗談ばいアイルッシュ。バグパイプが入るオルト・タイムなダンス曲や足の動きが可笑しくなりそうなハイ

スピードなダンス曲などあの手この手で聴き手を踊りの場に引き出そうとする。1920年代アメリカのアイリッシュ・パブ・セッションのような人間臭くて逞しいアイリッシュ。ディスクはSP盤のデザイン。2008作。Doon)

\*MOVING CLOUD:Welcome,Who Are You? C  
(デンマークのアイリッシュ・グループのMoving Cloudの3枚目はDonal Lunnyのブロードウェイで沖縄録音。楽器編成はフィドル、ギター、ブラス、フルート、ホイッスル、バウロン、ステップダンス、カリン他。Donalは全曲バウロンで1曲サソでバックアップ。Donalの低音バウロンの効果が生きていて、全体を躍動感あるものにし、彼等の音楽をハイアップし、生き生きしたものにしている。それと沖縄効果か、セッションを超えた何か自由な空気感が気持ちいい。数曲での正統派トラッド・シガー-然としたJohn Pilkingtonのシンギングも味がある。全体的にどこことなく人なつっこい。2008作。Go')

\*BOHOLA:Jimmy Keane & Pat Broaders C  
(フィドルのS.Clellandが抜けて{ゲスト参加}Jimmy&Patの元のデュオに戻ったシガーのBoholaの5枚目。多くのトラッド・シガー-が好んでうたうDave Goulder作の"January Man"で、アコとギターによるダンサブルな演奏とPatの毅然とした歌唱で始まる本作は大半が伝統歌/曲で唄演奏両面で大人のアイリッシュ・トラッドを繰り広げる。Patのシンギングの見事さと感情表現豊かな演奏は生で鍛えたブロードの技だろう。年季が入ってる。全9トラックで28曲。2008作。Bohola Music)

\*THE SANDS FAMILY:Keep On Singing D  
(Colum,Anne,Ben,TommyのSands Familyが戻ってきた!しばらくそれぞれのアルバムでしか彼等の新しい唄は聴けなかったが、本作は4人そろってのファミリーとしての新作。家族で共通のこどもが喜びそうな可笑しい伝統歌と各人の作の唄等思い出や想いの詰まった唄を愉しみ、また慈しむように皆でまた唄でうたう。唄の味わいと奥が深い。人の温もりのあるフォーク・ミュージック。皆さん気持ちは子ども時代に戻ってるな。2008作。Spring)

\*FRANKIE LANE:Me To You C  
(1993年にGael-Linnより"Dobro"というアルバムを出しているF.Laneの新作はアメリカのフォーク・シガー-/SSWっぽい。自身ギターやドブローを奏で、Paul KellyやLena Uhmannがハンズ・オンやマンドリンを爪弾きうたう唄は古いアメリカ民謡や古いアイリッシュぽかったりまた叙情派SSWぽかったり、自身の好きな音楽や唄を好きなサウンドでゆったりまたご機嫌に愉しむ感じ。F.Laneのヴォーカルも音楽も温かくて心地よい。w.Paul Kelly,Lena Uhmann,Eamonn De Barra,Eleanor Shanley{"River of Love"という唄でデュエット。2008作。Cois Tine)

\*THE BEST OF ANDREW MacNAMADA AND THE LAHAWNS C  
(Tulla Ceili Bandのメンバー-だったこともある東アイルランド出身の名アコ奏者Andrewと仲間達によるアイリッシュ・セッション・ライブのベスト・コレクション。仲間はBreda Smyth,Jimmy Higgins,Kevin Haugh,Jim Corry,Joan Hanrahan,Anne-Marie McCormack,Ciaran Browne,Margaret Brohan{ほうきダンス}。パブの取り巻きの歓声も賑やかな正にライブの臨場感たっぷり。14トラック目のMargaretのハート・シューズのタップとアコの対決で場は最高潮。"Bank Of Oranmore","Humours Of Tulla"ほか全20トラックの全43曲。2008作? LM003)

\*ANDY IRVINE:Rude Awakening(back in stock)91作。(Green Linnet) a

**[ CD/ U S A { トラッド、アパ ラチアン他 } ]**

\*LISSA SCHNECKENBURGER:Song A  
(「イングランド」で取り上げたい米国ニュー・イングランドの若き女性トラッド・シンガーでフィドラーのLissaはあっけらかんとLisa KnappやJackie Oatesクラスのフレッシュなトラッド・アルバムを作っている。1曲目のアコがえらいカッコイイと思ったら、Sharon Shannon。Sharonの演奏はこの曲に限らず、Lissaと余程気が合ったのか参加した他の2曲でも絶好調のアコで突っ走っている。選曲の大半は"The Maine Woods Songster"という本からのパワートラッドで、Lissaは伴奏のトラッド・シンガーが伝統歌/パワートラッドをうたうのと同じ地平からアメリカに伝わる伝統歌/パワートラッドに立ち向かっている。理想のトラッド・アルバム。英国のフォーククラブでうたったら大歓迎間違いなし。w.S, Shannon, Natalie Haas, Keith Murphy {ギター & フォーカールーキーで終始付き添う彼の存在と役割は大きい}, Jeremiah McLane, etc. 今年のベスト・トラッド・アルバム第一候補。2008作。Footprint)

\*KATHY MATTEA:Coal A  
(祖父さんも父さんも坑夫で炭坑の町で育ったKathyの本作は坑夫や炭坑にまつわる唄をうたったもの。トラディショナルはStuart Duncanのバングーの如く"Sally In The Garden"のみで他はJean RitchieやHazel DickensやSi KahnやBilly Edd WheelerやDarrell Scottのいわばアメリカ民謡歌手の作。音楽性はアメリカ・スタイルが色濃いフォークだが、Kathyの唄はトラッド・シンガーのように毅然として語り部的で、心は完全に炭坑の時代にタイムスリップしている。Kathyのヴォーカルは坑夫達の霊が乗り移ったかのように素晴らしい。唯一アパラのラスト曲の"Black Lung/Coal"はゴスペル調で正に魂の歌声で感動的。坑夫で「黒い肺」で父親を亡くした作家のHomer Hickamが熱いライヴ・ノートを書いている。ジャケットもブックレットも黒づくめ。本作はKathyの祖父達に捧げられている。本作は唄による炭坑時代の心の記録だ。w.Stuart Duncan, Mary Stuart, Byron House, etc. 2008作。Captain Potato)

**[ CD/ N O R W A Y ]**

\*ANNBORG LIEN:Waltz With Me C  
(String Sistersでヴァイオリン・ルネ・イングフェル奏者のAnnborgの待望の新作。本作は2007年にルウエーで開かれたTelemark Folk Festivalのコンサート環で制作されたもので、共演者にトラッド・シンガーのKirsten Braten BergにMozaikのBruce Molsky、ヴァイオリンのMikael Martin、チェロのChristine Hansonを迎えてスタジオで録音されたもの。Annborgのこれぞルネ・イングフェルの真髄!の演奏を繰り広げる一方でKirstenとBruceのシンギングが花を添えているし、演奏者全員が一丸となった演奏はドラマティックでもある。Annborgの演奏は民衆音楽の魂を背負って気高かつ花がある。素晴らしいルウエー音楽の世界だ。2008作。Grappa)

\*CAMILLA GRANLIEN: Begjaer C  
(全欧米の女性トラッド・シンギング・アルバムの中でも珠玉の無伴奏トラッド・

ソング・アルバム。Camilillaの清澄なソングは無伴奏という音空間を純白で清らかな空気感のある音のように感じさせ、彼女の凛としたソングと共にルワーとその周辺のいにしえの様々なトラッドの世界へと誘う。彼女の細く、しかし抑揚のある極北の空気感に充ちたソングはそれだけで音楽的で美しく、不思議と「無伴奏」を意識させない。選曲は幾つかのフォークソング関係の本から彼女が見つけた様々なトラッド。スコットランドやイングランドの珠玉の女性トラッド・ソング・アルバムを味わう感触だが、北欧的空気感では肩を並べるものはなし。曲目英語解説付。2005作。Ta:lik)

- \*UNNI LOVLID:Rite C  
(Ruskのムバで屈指のグォーカストのUnniの待望の新作。数世紀前の民謡をうたった前作"Vita"の宇宙的なトラッドの世界をさらに深めたような全曲自作の唄による新作だ。唄は超自然的で夢・幻の世界。Unniは風の精にでもなったかのようにエコーを引きながら浮遊し流れるようにうたう。シセ、ルンヂ・ホソ、アコ、ブローラミング、クローケンズール、チェロ等による演奏は効果音的というか絵画的でUnniの不思議なグォーカの世界を霊的或いはおとぎばなしの空気で包んでいる。北欧トラッド・ソングの夢幻性を追求したかのようなグォーカ・ミュージックだ。みんな夢の中…。歌詞英訳付。2008作。Grappa)
- \*UNNI LOVLID:Vita(2005作。Grappa) C
- \*BRUVOLL HALVORSEN:Trillar For To C  
(Tore BruvollとJon Anders Halvorsenのデュオの待望の新作。二人のオリジナル曲の1曲を除き、全曲トラッド曲の本作は前作同様どこことなくスコットランドやイングランドの最高レベルのトラッド・ソング・アルバムを聴く感触。Jonのソングは繊細で表現力豊かで気高くもある。イマジネーションを喚起させる見事なソングはイングランドならChris Woodクラスだろうか。Toreのギター、ラップ・スティール等の演奏も魔法的に見事。深くルワーの豊かなトラッドの世界へと誘い込まれる。絶品。2007作。Grappa)
- \*TORE BRUVOLL・JON ANDERS:Halvorsen Nattsang C  
(ルワーのTelemarkという地方のトラッド集だが、Jonのソングは清流の清々しさ。終始神経の行き届いた感性鋭いギターで付き合うToreのギターが全体の空気を清らかに引き締めている。身震いの逸品。2004作。Grappa)
- \*STURLA EIDE:Murru C  
(Streifというバンドのマルチングフェーレ&フィドル奏者のヨロ。彼のマルチングフェーレの演奏はひと味違う。ルワーのトラッドの薫り高い高潔な演奏も圧巻だが、ワクをはみ出すエルクという遊び心もたっぷりあって興味深い。伝統的演奏を体験的に身をもって体得して初めて得られるようなルワーの伝統音楽の持つ高潔さと躍動感とが彼の演奏から溢れ出ている。ある意味、野人的演奏とも言えよう。フィドル系楽器の奏者には刺激的で素晴らしい演奏集だ。曲によってはギター、アコーストして音響効果も付く。見事。2007作。NORCD)

### [CD/ DENMARK ]

- \*HAUGAARD & HOIRUP:Rejsedage / Travelling ¥3680  
(7度もの賞受賞のフィドルとギターの二人組{デンマークのM.Hayes&D.Cahill

?"Haugaad&Hoirup"の結成10周年記念CD/DVDセット。昨年の秋にHaugaadの家の森の中で収録された本作は半分がデンマークのトラッドで残り半分が二人のオリジナル。デンマークのフォーク・ミュージックの発展に貢献してきた名演奏家二人による数々演奏はルーツ回帰的で美しく、そして華やかである。世界の旅を終えて故郷に帰った二人はじっくり故郷の音楽を奏でつつ、旅の思い出をも盛りつけている。そうした曲ではHoirupのギターもHaugaadのフィドルも思い入れがスムーズに音楽に投影され、幾分ドラマティックで映像的だ。故郷の音楽と旅の記憶を心で奏でた素晴らしい音楽。w. Tapani Varis, Sonnich Lyddom, Sune Hansbaek, DVDはPALで2007年のコンパクトの小さなケースでのライヴで38分。英語字幕付。このアットホームな雰囲気でのライヴが物凄く良い。緊張感と親近感とが良い感じで音楽に現れている。二人の演奏も牙え渡っている。絶品としか言いようがない。あとインタビューが41分。2008作。Go')

\*VALRAVN: Valrav

C

(フェロ諸島から驚愕の4人組。まるでHedningarna。メンバーはAnna Katrin Egilstod{ヴォーカル}にInstinktのMartin Seeberg{ヴァイオリン、フルート、口琴}、Soren Hammerlund{ハーモニカ、ギター、マンドリン}、Juan Pino{パーカッション}。フェロ諸島、デンマーク、アイスランド、スウェーデンのトラッド等をAnnaのまるで異界からの魔性を帯びたヴォーカルと挑発的北欧トラッド・サウンドで血わき肉おどらせる。Hedningarna/Garmarna系の北欧暗黒トラッドの世界だ。伝統歌の歌の世界も不気味だったり不可思議だったり。Annaさんブクレットのアイスランドの伝統歌のページでセミヌード披露。下半身赤い網タイツだけど、妖精か何か? 2007作。Tutl)

\*KRISTINE HEEBOLL: 10 Point

C

(Trio Mioのフィドル奏者Kristineの音楽は心の深いところに忍び寄る音楽。デンマークの長い夏が思い出される夏の日魔法のような思い出をボリスカで演奏した"Flying Summer"で幕開けする本作は魔法がかけられたような不思議に気持ちの良い音楽ばかり。夏のフォークフェスの空気感のある北欧フィドル・ミュージックからオリジナルな感覚のフィドル・ミュージックまでどれもがKristineの心を通して生み出された音楽。大半の曲でDan Gisen <Malmquistのクラリネットがフィーチャーされていて、柔らかいクラリネットの音色が浮雲のような独特の夢想感を生み出している。2007年フォーク・ミュージック賞受賞アルバム。夏の北欧のフェスに行った事のある人、これ聴いたら、また行きたくなるよ。2007作。Go')

### [ CD / LATVIA ]

\*LAIKSNE: Es Jauna Budama

C

(女性5人組のトラッド・グループの2003年作。解説を読むと本作の前に2枚のアルバムを発表している。Niekkuというフィンランドの女性トラッド・グループを聴いたときのような初々しい感動。コルというカレ系楽器他笛、口琴、フィドル、バグパイプ、アコーディオン等各種民俗楽器を奏でて、初々しい女性ヴォーカル&合唱を披露する。合唱にはVartinnaスタイルのもある。森の中で美しい花園...の感動。2003作。Laiksne)

\*BIRUTA OZOLINA PATINA: Biruta Ozolina Patina

C

(2003年に東ラトヴィアを起源とするLatgarian Singing{bolsi}という

古代のシギングとジャズとのフュージョンを目差して結成されたトラッド・グループ。その古代のシギングをするのはBiruta。自身コルを奏で、花園で遊ぶような季節感に彩られたトラッドの伝統歌をある時は毅然とある時は風になったように清々しくシギングする。北欧の女性トラッド・シギングと通底する不思議ヴォーカル・ワールドだ。ジャズはあくまで彩り効果としてのジャズっぽい音楽で、Birutaの古代シギングの神秘性を彩り効果音で深めている。歌詞英訳付。2006作。Lauska)

\*ILGI:Totari

C

(男女の5人組のトラッド・グループの2005年作。どうやら冬至の祝賀歌と思われるが、古代から伝わる宗教的な唄を女性ヴォーカルを中心に2台のコルを中心にギター、口琴、カシバ、ベル等の他不思議な音色のアコースティック楽器の伴奏で、古い時代或いは神話の時代へと誘われるような不思議な音楽の世界。女性ヴォーカルは終始呪術的な歌唱だが、清流のようなアコースティック・サウンドの中では清く光って聞こえる。ある種妖精的と言えよう。数曲だが、男性ヴォーカルがまた不思議で、バグパイプのドローンのような響きはまるで異界からの響き。アラブ或いはオリエント的な響きも深いところで感じられる。不思議に美しい音楽だ。2005作。Tuviem Un Taliem)

\*AUJI:Aulos...

C

(バグパイプと太鼓のグループだが、ブルターニュのそのタイプグループとは全く違う。他にギガという大きなフイドルやダブルリードの笛にヴォーカルも入った音楽は各楽器の伝統色豊かなアンサンブルが見事で、勇壮な音楽を華麗にダクミクに創作している。太古の世界を音楽で表現しているような物語性が感じられる。男女のヴォーカルは時として奇怪。バグパイプがエレキギターのようにうたう音楽も珍しい。太鼓は原始の響き。2007作。Lauska)

### [CD/FRANCE]

\*RED CADELL:Banquet De Cristal

C

(ウクライナの音楽家と共演したRed Cardellの前作"Naitre"にもぶっ飛んだが、本作もとびっきりの異種交配お祭り音楽にぶっ飛んでしまった。実際トビュートアルバム的性格を持っていて、彼等のメンバーを多数のツモノ音楽家との共演を通して、かつてなかったような異様な魔界の世界のダクミックなブレイク・トラッド・ワールド・ミュージックを即興的に創作している。音楽のスケールは汎アジア・ヨーロッパ的スケールで、例えば、イングランドの"The Imagined Village"のブルターニュ版的。汎アジア・ヨーロッパ的スケールのエキゾチックな音楽とちょっと尖がった現代のテクノリズムとを貪欲に取り入れて仮想のグルヴィーなワールド・ミュージックを創作している。ウクライナのような女性ヴォーカルは誰? 共演者はStephane Mellino{Negresses Verte}, Dr.Das{Asian Dub Foundation}, Dan Ar Bras, Louise Ebrel, Ronan Le Bars, Bagad Kerne, Farid Ait Siameur, etc. 終わって不思議な悪夢?からお目覚め。2008作。Keltia Musique)

### [CD/ITALY]

\*RICCARDO TESI:Presente Remote

C

(音楽活動30周年記念に制作されたゲスト多彩で音楽多彩な Riccardo らしいトラッド、ジャズ、ロック、テン混在の即興性の高い汎地中海的万華鏡音楽。地中海のリズム感と色彩感溢れる彼のアコは魔法。ゲストヴォーカルの Elena Ledda と G.Di Marco のそれぞれがいかに地中海風味の魅惑のヴォーカルで夢見心地にさせ、G.Murgia が喉唄で異界へと誘惑する。余りある才能が発揮された素晴らしい音楽。地球上にリズムが躍る素晴らしい音楽。2008 作。Felmay)

\*BELLI TAMBURI: Danza E Ridanza C

(カラブリアの隣、南イタリアのバシカータの何とも不思議な音楽。バシカータの多層の民俗音楽を一度に現代のハイテク音楽と混ぜこぜに交配して、タケミツにこの世に蘇らせたような音楽。文化的にはアラブ、サセシ、ギリシャそして北欧。加えてアフリカ音楽とジャズを加えて土俗性たっぷりに演唱。サウンドのおどろおどしさも驚きだが、呪文のような奇怪なヴォーカルも異様。夜中、妖怪達がお祭り騒ぎの様相も。そんな不気味な音楽を創作しているのは Antonio Bruno{ヴォーカル、ギター、シタレ}、Giorgio Bruno{バシカーション他}、Tonino Panico{サクソ他}、Peppe Rinaldi{オルガン、シタレ他}の4人。2007 作。CNI)

\*CLAUDIA BOMBARDELLA ENSEMBLE: Un Mondo Fra Le Mani C

(シカでマルチ楽器演奏家兼作曲家の Claudia はかれこれ20年、民俗音楽研究を含めた音楽活動をしているイタリアで最も信頼されている民俗音楽家の一人。彼女の音楽は根源的で知性的。様々な伝統的歌唱を含めた民俗音楽の要素をバシカスタイルに散りばめ、大河のような大きなイタリアならではの民俗音楽的音楽を創作している。クリームのように滑らかな音楽には細やかに多様な音楽が散りばめられ、ヴォーカルも様々なスタイルでごく自然にうたわれている。ほのかにアラブの香りもする悠久のイタリア音楽。民俗音楽的音楽の芸術品。P32のブックレット付。2008 作。Radic Music)

\*JESSICA LOMBARDI: In Dote C

(30年前に1960年代に録音されたフォークソングを Diego Carpitella が採録し三巻にまとめて発行した英題"Folk Music Of The Region Of Arezzo"を聴いたバグパイプ奏者兼フルト奏者の Jessica が当時録音の今では聞かれなくなった民謡とコラボレーションしたのが本作。彼女は初めて聴いて「最高の宝物を見つけ！」と思ったそう。素朴なおばさん達の唄に Jessica が新しいトラッド・サウンドで化粧直し。化粧つけない素朴な唄が風のように清々しい、或いは躍動的なトラッド・サウンドに乗って動き出す。2007 作。Radic Music)

\*I SUONI DEL POLLINO: Sonate Calabresi C

(カラブリアのバグパイプはでっかい。バグは大人の半分の大きさで笛の部分は大人の背丈ほどあるものも。パイプ、タンバリン、ギター、笛等による演奏はタンテラのように目まぐるしいダンス音楽。ギターはまるでバシカーション。パイプが入ると遊牧的響きで音楽のスケールを増す。私の耳にはサルデーニャの音楽でこんな感じの音楽を聴いたようなないような。呪文のような唄もどこかサルデーニャの民謡のように個性的で土俗的響き。普通のじいさんが魂の入った演奏と唄を聞かせる。バグパイプが服を掛けるように掛けてある楽器工房の写真入 P16ブックレット。2008 作。Radic Music)

\*TRIOTRESCA:Umpa Umpa C  
(熟年男性トリオ{ヴォーカル、ギター、ベース、各種笛、アコ等)によるトスカナの伝統歌と伝統的ダンス音楽。ダブルリードの笛が地中海の風をまき、アコが小気味良く躍り、ギターがリズムの彩りを添える。楽器編成の関係もあるが、南イタリアの音楽とは一線を画す牧歌的でスマートなダンス音楽と伝統歌だ。英語解説付。2007作。Radic Music)

### [CD/ BULGARIA ]

\*PERUNIKA TRIO:Introducing B  
(ロンドンで結成された若きブルガリア人女性3名のブルガリアンヴォイストリオ。ブルガリア民謡を中心にロシア民謡とマケドニア民謡等スラヴ系民謡をブルガリアンヴォイス(ホリフォニー)のスタイルの合唱でうたう。三つの美しい明暗のヴォーカルを編むようなトリオの歌唱は数多くのブルガリアの女性トリオのアルバムの中でも際立っている。ブルガリアンヴォイスの民俗的個性を強調した合唱でその中で高音のメロディのヴォーカルの美しさが光っている。歌詞英訳付。2008作。Introducing)

### [CD/ HUNGARY ]

\*SZALONNA ES BANDAJA:Oromzene D  
(Pal Szalonna というスコ腕ヴァイオリン奏者と仲間による唄と演奏だが、このジプシーヴァイオリン~ハンガリースタイルのヴァイオリンの超絶さは凄い。民俗音楽の個性や民俗性を濃厚に保持しつつ、民衆音楽のレベルを超えて、音楽が大きい。ハンガリアンヴァイオリンの魔術師。男女を問わずゲストヴォーカルの民俗性豊かなシンキングも素晴らしい。三つ折り特製ジャケットで曲目解説及び歌詞は英訳付。2007作。Magyar Folk Centrum)

\*ABLAKANAPRA:Rejtek D  
(Ablakanapra は Pelyhe Brigitta 嬢がヴォーカルの5人組。若者に人気のオリジナリティの強いトラッド・フォークグループだ。バルカンっぽかったり、ハンガリーの伝統音楽っぽかったりもするが、全体的には私の耳には東欧的フレイヴァーや中世音楽のフレイヴァーを放つ牧歌的ブリテン・フォークに聞こえる。Pelyhe のヴォーカルも各種アコースティック楽器{各種笛、フルート、ギター、パーカッション}の演奏も風の流れるように清々しく、メルンチック。2007作。Fono)

### [CD/KLEZMER, GYPSY, BALKAN 他]

\*MOR KARBASI:The Beauty And The Sea C  
(fRoots の5月号の"Reviews"のセクシーな写真付のトップで Ian Anderson がベタ誉めしていた魅惑の女性歌手。1ダヤの伝統歌を多く含む本作は多くの1ダヤ~セファルディー系アルバムの中でもワールド・ミュージック的レベルでダントツに優れている。驚くのはMorの歌唱の超絶さ。ブルガリアの民謡歌手のような喉を震わす魂の入ったシンキングなど空前絶後。アラブっぽくて妖艶だったり、地中海風100トラッド的で美しくロマンティックだったり、聴き手の心を手玉に取る。全曲でぴったりギターの伴奏を付ける Joe Taylor のアラブ=地中海万華鏡ギターを中心にしたサウンドは地中海~アラブ~インドを横断するサウンドだが、ヴォーカルを含め独創的で独自の美意識で貫かれている。絶品。2008作。Mintaka)

\*VISER PA VANDRING I NORDEN ¥3890

(副題 "Songs Of The Romany People In Finland, Norway And Sweden". 長方形特製 CDブック型 2 枚組 CD。英語解説書付。北欧で暮らすロマ達達の唄のフィールド・レコーディング。Disc 1 が "Traditional" で Disc 2 が "Contemporary"。Disc 1 では最も多く収録されているフィンランドの Hilja Gronfors のメロコリッな歌唱やルウェーの著名トラッド・シンガーの Kent Hallman のスウェーデンの唄を想わせる悠々たる歌唱が素晴らしい。Disc 2 は Disc 1 とは一変。ギターの弾き語りやバンド形式の文字通り現代調で、ラップまで飛び出す。音楽的にも Disc 1 での北欧トラッドと同化した唄とは異なり、地中海・フシ音楽の色調を帯びている。古くは中世起源の伝統歌を歌い継ぐ Tarveller 達の音楽については解説を読んでね。2007 作。Etnisk Musikkclubb)

### [ CD / MALI ]

\*TOUMANI DIABATE: The Mande Variations C  
(グリーオの家庭に生まれたコラ奏者の第一人者 T. Diabate の新作だ。彼の 1988 年のデビュー作 "Kaira" と Jali Musa Jawara に魅了されてコラ音楽と西アフリカの音楽の旅が始まったが、デビュー時 21 歳だった Toumani も今は 41 歳 {まだ若いかな...}。本作は彼のオリジナリティが彼がアレンジした伝統音楽だが、コラならではの伝統音楽のリズムが散りばめられた清流のごとき音楽はデビュー作の感動を蘇らせてくれる。サウンドは粒立ちが良く、リズムとメロディが織り成す音楽の流れは益々清い。音楽の底に流れているのはヒリングではなくスピリチュアル。ラスト曲は 1987 年に初めてロンドンに来て、7 ヶ月世話になったという友人に捧げた曲で、そこから始まった長い音楽の旅を表現した曲。コラ音楽の美しさが光る約 7 分の大作だ。世の中信じられないほど美しい音楽がある。2008 作。World Circuit/Nonesuch)